

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和06年08月09日

計画の名称	堺市における都市公園の長寿命化と安全・安心な公園づくり（防災・安全）															
計画の期間	令和02年度～令和05年度（4年間）											重点配分対象の該当				
交付対象	堺市															
計画の目標	公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化した公園施設を効率的・効果的に補修・更新を行い、誰もが安全・安心で快適に利用できる公園を確保する。															
全体事業費（百万円）		合計（A＋B＋C＋D）		977	A	977	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A＋B＋C＋D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2初	R3末	R5末
1	整備計画期間における公園施設長寿命化計画に基づき補修・更新した公園施設数の割合の増加			
	整備計画期間における公園施設長寿命化計画に基づき補修・更新した公園施設数の割合 （目標年次における補修・更新済み公園施設数／R5末補修・更新済みの目標公園施設数：238施設）×100	0%	50%	100%
2	公園施設長寿命化計画策定公園数の割合の増加			
	公園施設長寿命化計画策定公園数の割合 （長寿命化計画策定済の都市公園数／都市公園数：1183公園）×100	3%	%	91%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	
5か年加速化対策の要素事業の追加																

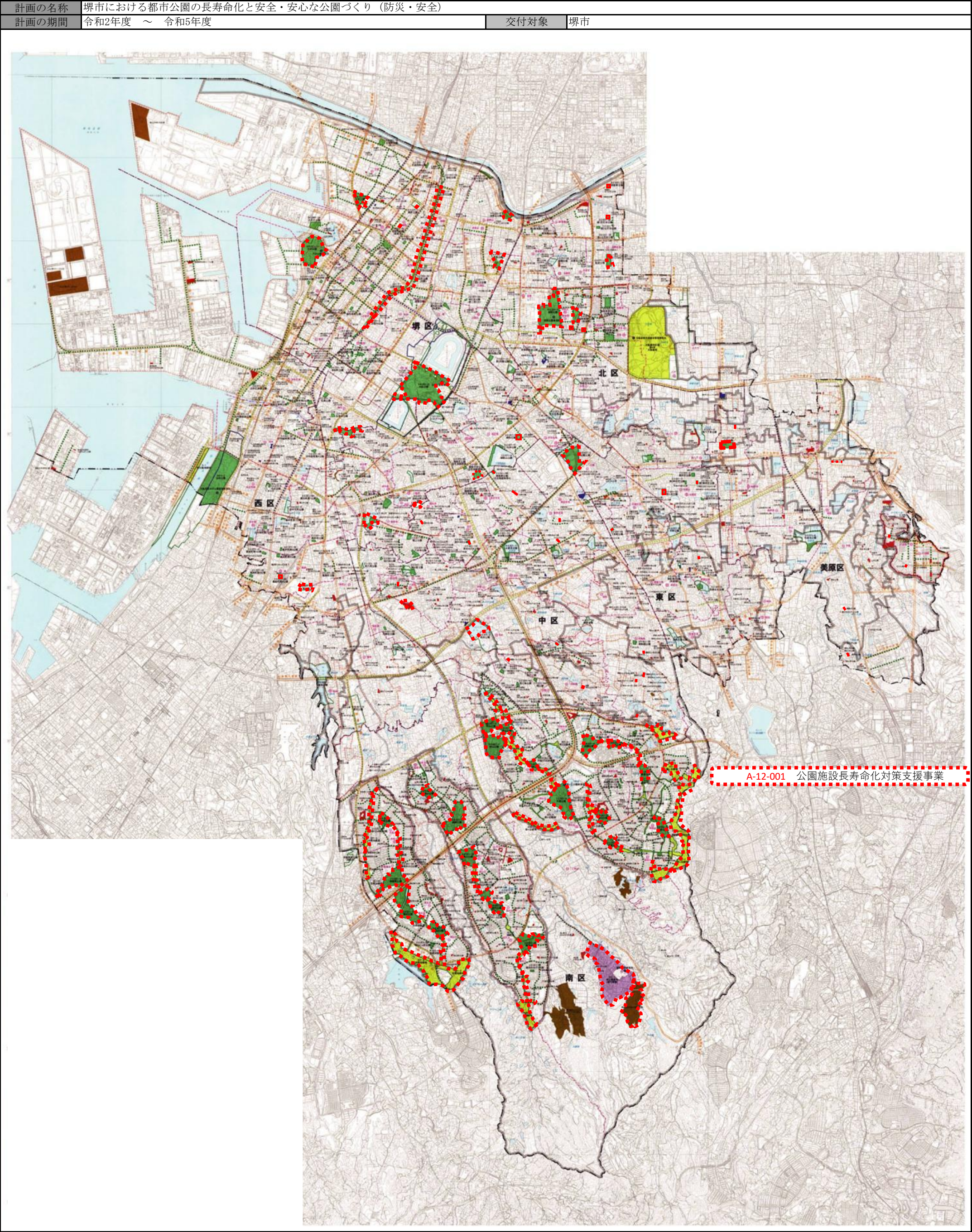
A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	堺市	直接	堺市	-	-	公園施設長寿命化対策支援事業	公園施設の補修・更新	堺市	■	■	■	■		958		策定済
	A12-002	公園	一般	堺市	直接	堺市	-	-	公園施設長寿命化計画策定調査	公園施設長寿命化計画の変更	堺市				■		10		策定済
	A12-003	公園	一般	堺市	直接	堺市	-	-	公園施設長寿命化対策支援事業(5か年老朽)	健全度C判定かつ耐用年数9割超過の緊要な対応が必要な公園施設の改築 N=2公園	堺市				■		9		策定済
											小計						977		
											合計						977		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02	R03	R04	R05	
配分額 (a)	55	79	79	79	
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	55	79	79	79	
前年度からの繰越額 (d)	0	18	17	12	
支払済額 (e)	37	80	84	60	
翌年度繰越額 (f)	18	17	12	31	
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	5	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0	5.49	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考図面)



事前評価チェックシート

計画の名称： 堺市における都市公園の長寿命化と安全・安心な公園づくり（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 1) 上位計画等と整合性が確保されている。（上位計画名：都市計画マスタープラン、地域防災計画、緑の基本計画 等）	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の適合性） 1) 本市の課題を踏まえた目標となっている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の適合性） 2) 本市のまちづくりに必要な施策に位置づけられている。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性 1) 計画の目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性 1) 定量的指標は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性 2) 定量的指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性 1) 計画の目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性 1) 十分な事業効果が確認・期待されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性） 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性） 2) 計画について住民や民間事業者等との間で合意が形成されている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性） 1) 住民等から事業実施についての要望がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性） 2) 計画について住民・民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	○